



やさしさあふれる さくら学校

新潟市立内野小学校

令和7年7月号

さくらだより

「いってきます」と「いってらっしゃい」

校長 山田 里恵子

夏休みに入って2週目となりました。相変わらずの猛暑ですが、お子さんは、元気で過ごしていますでしょうか。夏休み前の全校朝会では、4月からたくさんの成長と活躍を見せてくれた子どもたちと成果を共有するとともに、次のような、「いってきます」と「いってらっしゃい」の話をしました。

朝、皆さんは、家を出るときに、「いってきます」と挨拶をします。「いってきます」は、実は、二つの言葉が合体してできたものです(ここでクイズ)。そうですね、「いってきます」は、「行きます+帰ってきます」が合体してできた言葉なのです。だから、「いってきます」は、「行って、帰ってきます」いう意味になります。

では、「いってらっしゃい」は、どうでしょう。「いってらっしゃい」は、「行って、帰っていらっしゃい」という意味になります。

昔は、何日もかけて、歩いて旅をしていました。途中で命を落とす人もいたくらいです。旅をするのも命がけでした。旅立つ人は、待つ人に「いってきます」と言うことで「必ず帰ってきます」という誓いを立て、見送る人は「いってらっしゃい」という言葉に「行って、無事に戻ってきてください」という思いを込めて言っていました。



また、戦争中は、戦争に行く人は、「いってきます」と言うことで「必ず生きて帰ってきます」という誓いを、見送る人は「いってらっしゃい」と言うことで、「無事に生きて帰ってきてください」という思いを込めて言っていました。でも、「いってきます」と言わない人たちもいました。死ぬ覚悟で戦いに出る人もいて、「いってきます」とは言わずに「行きます」と言っていました。「いってきます」と言うことができなかったのです。歴史を勉強している6年生なら、その意味が分かると思います。今、日本は平和ですが、世界では、戦争や紛争があり、多くの子どもたちが犠牲になっています。8月15日は、終戦の日です。日本も、戦争をした時期がありました。戦争中は、「いってきます」が言えない人たちもいたのです。

「いってきます」「いってらっしゃい」という言葉は、「大切な人とまた会うことができますように」という願いからできました。普段、何となく使っていた言葉に、こんな深い意味があったのです。

「行って、無事に戻ってきてください」という願いを込め、毎日子どもを送り出しているお家の人々が心配するのは、どういうことでしょうか。子どもの安全が守られなかったときです。

皆さんは、相手とうまくいかないと感じた時、どうしていますか。相手を傷付ける言葉や暴力で、解決しようとすることはありませんか？それらは、取り返しのつかない怪我や深い心の傷につながります。相手を傷付ける言葉や暴力では、何も解決しません。どんな理由があろうとも、絶対にやってはいけません。自分は絶対にやらないという気持ちも大切です。

自分にとってどうなのか、相手にとってどうなのか、みんなにとってどうなのか、よく考えて行動し、みんなで安心、安全に過ごすことができる学校をつくりましょう。



子どもたちは、教育活動を通して学ぶ姿を見せてくれています。一方、普段の生活の中で、「相手の気持ちを考える」「周りを見て行動する」「正しい判断をする」といった点で心配な行動が見られることがあります。

先日お配りした学校教育ビジョンにあるように、年間を通して「互いに認め合う」「互いに支え合う」心を育成します。そして、これからも地域、家庭と連携しながら、「やさしさあふれるさくら学校」を目指していきます。

<会津若松の修学旅行(6年生)>6月25日(水)26日(木)

『会津の歴史や文化を学びながら、仲間との絆を深め、最高に楽しい修学旅行にしよう』をスローガンに、子どもたちは主体的に準備を進めてきました。

1日目は、野口英世記念館や会津藩校日新館を見学し、会津の歴史を学びました。日新館では、座禅体験をし、静寂に包まれ、集中する素晴らしさを実感しました。番匠では赤べこの絵付け体験をし、会津の文化に触れました。

2日目は、周遊の路線バスを活用し、33の班に分かれ、体験や見学をしました。事前に、地図やパンフレット、インターネット等で、行きたい場所、ルート、料金等を調べ、計画を立てました。体験場所は、時間が決まっている場合が多いので、子どもたちが事前に連絡をし、予約をしました。予約の電話をする際の子どもたちの緊張感と、予約が取れて喜ぶ姿がとても印象的でした。当日は、修学旅行シーズンで乗客が多く、バスに乗れない、バスが遅れるなど、計画通りにいかない場面もありましたが、その都度班でよりよい方法を検討したり、本部と相談したり、保護者ボランティアの皆様にご協力いただきたりし、どの班も立派にやり遂げました。保護者ボランティアの方々からも、「予定通りに行かない時、班で意見交換しながら目的地に向かった」「友達と声を掛け合い、自分の役割を果たしていた」などの声をいただきました。

「ルールやマナーを守る」という点で光る姿がたくさんありました。話の聴き方と気持ちのよい挨拶は本当に素晴らしかったです。また、トイレのスリッパを黙って揃える、食事の後、他の人がしまい忘れた椅子を進んで直す、周りの机を進んで拭く、他の仕事を気持ちよく手伝うなど、人が見ていないところでも、どうするとみんなが助かるか考え、気持ちよく行動していました。最高学年として、今後の学校生活で活かす姿が楽しみです。



<新潟県少年自然の家での自然教室(5年生)>7月16日(水)17日(木)

『安全 協力 全力 ルールとマナーを守り、仲間と共に楽しんで、最高の思い出を作ろう』をスローガンに、自分たちで進めることができるよう準備しました。

野外炊事では、野菜を切り、米を研ぎ、火をおこすなど、慣れない作業でしたが、班で役割分担し、協力したり助け合ったりしながら取り組みました。保護者ボランティアの皆様のご協力で、おいしいカレーが出来上がりました。

夜のキャンプファイヤーでは、楽しいダンスやゲームで親睦を深めたり、厳かなセレモニーで静かに1日目を振り返ったりし、仲間との絆を強めました。

2日目のオリエンテーリング、カヌー、グラウンドゴルフでは、班で協力し、相談したり、支えたりしながら、課題に取り組みました。

どの活動でも、自分の担当の仕事を、責任をもって果たす姿が見られました。また、班活動で、相手の立場に立ち、どうしたら相手が嬉しいかを考え、進んで手助けをする姿が見られました。今まで経験したことのない様々な場面でたくさんの仲間とのかかわりながら、目標に向かってやり遂げる喜びを実感したことと思います。スローガンの通り、仲間と楽しみ、最高の思い出に残る自然教室となりました。高学年として、全校のよいお手本となってくれることを期待しています。



<第55回新潟市小学校陸上競技記録会>7月29日

5・6年生の希望者が、ビッグスワンで開催された陸上競技記録会に出場しました。種目は100メートル走、走り幅跳び、男女混合リレーです。出場する子どもたちは、6月から自己の記録に挑戦しながら練習を重ねました。当日は、全員が記録を残すことができました。仲間を一杯応援したりねぎらったりする姿、他校の先生や子どもたちに気持ちよく挨拶する姿が見られました。閉会式の参加の仕方も立派でした。参加した子どもたちは、素敵な経験と、共に頑張った仲間との新たな絆を得ることができました。

